

キャラクター名
烏丸ハイネ(からすま・はいね)

プレイヤー名

シンドローム	パロール ノイマン		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	大学生
オプション			年齢	18	性別	女
覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	28 %	
出自	天涯孤独	経験	敵性組織	邂逅	薬王寺結希	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	0	1	0			1	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	5	0	0			5	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：四輪	2		芸術：			知識：			情報：UGN(コア)情報秘伝	1	2
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
灰鴉黒撃	白兵	5r+1		20		侵蝕:7 紡ぎ:1
-レイヴンズソード-	白兵	12r+1	100%	23		120%:ダメージ+2D

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
決闘者の剣	
コネ:薬王寺結希	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
悪魔の子	P	N		
薬王寺結希	P 執着	N 恥辱		
日常	P 庇護	N 不安		
春日恭二	P 憧憬	N 敗者		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセ:ノイマン	2	2	メジャー			シンドロ		
効果：	C-2(3)下限7							
コントロールソート	1	2	メジャー			<白兵>		
効果：	【精神】置換							
巨人の斧	3	3	メジャー	武器	-	<白/射>		
効果：	攻撃力+9(12) ダイス-2							
ファンアウト	1	4	セット	至近	範囲(折)			
効果：	戦闘移動 拒否可能 シナリオ1(2)回							
紡ぎの魔眼	2	1	オート		自身			
効果：	判定直前 ダイス+2(3) ラウンド1回							
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体		100%	
効果：	判定直後 達成値+18 ラウンド1回							
悪魔の子	★							
効果：	100%:判定ダイス+3 120%:ダメージ+2D							
偏差把握	★					(意志)		
効果：	位置・ベクトルを把握							
異形の痕	★							
効果：	両眼に魔眼の機能(琥珀色)							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「ま、また書類整理か! 私の本領は戦場だというのに……!」
「弱さは罪であり、勝者こそが正義なのだ」

N市の若き支部長。最近支部長に赴任した。
毅然とした態度をとり何者にも物怖じしないが、やや世間知らず。
『勝者こそが唯一の正義』という主義を持ち、勝利に執着する。
烏丸ハイネという名は適当に付けた偽名だがするする使い続けている。
コードネームで呼ばれる方が好き。

覚醒の際に両眼が魔眼に変貌しており、琥珀色に染まっている。
魔眼によって"視た"周囲の状況をノイマンの思考能力で処理することによる、戦況把握と指揮能力に優れる。
反面、大規模なエフェクト行使は不得意。
右手は味方への采配に、左手は剣による攻撃に用いる。尚、左利き。

幼少期にFHの作戦によって覚醒させられ、そのままFHチルドレンを経て、戦闘部隊の前線指揮官として活動していた。
覚醒させたのはエリート時代の"ディアボロス"春日恭二であり、彼に指揮されたことも、彼を指揮したこともある。
ハイネの勝利思想はセルの教育もあるが、エリート時代の春日に憧れ、影響を受けている点もある。
FH時代は作戦の成功のためにはどんな犠牲も厭わない、冷徹で非情な"琥珀の瞳"として有名だったが、
一年前、S市近辺への侵攻作戦において"運命の導き手"薬王寺結希に敗北してから運命が変わる。

UGNに捕らえられるも、結希の口利きもあって凍結は免れ、ハイネもまた"勝者"である結希に従い、UGNに下る。
自分に勝利しつつもその勝利を認めなかった結希に、いつか"勝つ"為にUGNの活動に精を出し、遂に支部長の座にまで上り詰めた。